

宮崎大学同窓会連合会だより

卒業生のみなさん、おかえりなさい 第1回ホームカミングデイを開催!!



平成23年11月19日(土)、本学においてホームカミングデイを開催しました。
このホームカミングデイとは、卒業生が「母校宮崎大学」に集い、母校の近況に触れ、懐かしい恩師や学友との交流・親睦を深めていただき、相互の連携と発展につなげていくために、大学が卒業生をお招きするイベントで、同窓会連合会と大学の共催により開催しました。

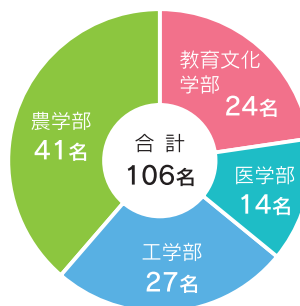
当日は清花祭(大学祭)や名誉教授懇談会も行われており、普段とは一味違う賑やかな雰囲気の中、恩師や学友との会話に花を咲かせたり、興味深そうにキャンパス内を見学する卒業生の姿が見られました。



■プログラム

10:00~10:45	歓迎式典
10:45~11:00	休憩
11:00~12:15	特別講演 演題 「薬を創る～新しいペプチドホルモンの探索～」 講演者 松尾壽之氏 (宮崎大学名誉教授 元宮崎医科大学学長)
12:45~14:30	懇親会
14:30~16:00	キャンパス自由見学

■参加者数



第1回ホームカミングデイを振り返って

第1回ホームカミングデイは、皆さまの御陰を持ちまして、平成23年11月19日に盛会の内に無事終えることができました。心から感謝いたします。

現在の宮崎大学は、平成15年10月に旧宮崎大学と宮崎医科大学の統合により設置されました。設置当初より、学部の垣根を越えた横断的な交流、同窓生間の新たな「絆」を築き上げる必要から、4学部5同窓会の代表により検討を重ね平成21年4月に宮崎大学同窓会連合会が発足しました。この連合会の具体的な活動について検討した結果、ホームカミングデイを開催することにいたしました。

開催に先立ち、各学部等の同窓会代表者が集まり実行委員会を組織し、度重なる議論を交わしました。まさに、実行委員会が「学部の垣根を越えた横断的な交流」そのものであったと感じています。振り返ってみると、色々な問題はありましたが、学部の違いによるものではなく、真剣に一つの目標のために一致団結ができ、当日の成果につながったと思います。

ホームカミングデイ当日は、あいにくの風雨の中、多くの方にお集まり頂き、同時に開催された名誉教授懇談会と合同の懇親会では、あちこちで懐かしい話で盛り上がっていました。また、同窓生のテレビ宮崎アナウンサーの榎木田さんの絶妙な司会も、盛会に大きく貢献しました。

今年は第2回ホームカミングデイが開催されます。皆さまのご参加をお待ちしています。



実行委員長
荒木 賢二
(医学部所属)



第1回 宮崎大学ホームカミングデイ

H23.11.19

歓迎式典

学長や同窓会連合会会長(代行)、各学部同窓会会長の挨拶、ブルースカイ合唱団の美しい歌声、さらにはオリジナルキャラクター“みやだい もうくん”が卒業生を歓迎しました。



菅沼学長からの挨拶



同窓会連合会
荒木会長代行からの挨拶



「みやだい もうくん」の紹介



各学部同窓会会長からの挨拶(左から、緒方会長(教)、河野会長(工)、高妻会長(農))

特別講演

2010年度文化功労賞受賞者である宮崎大学名誉教授 松尾壽之氏により「薬を創る～新しいペプチドホルモンの探索～」と題して講演が行われました。



講演者 松尾壽之氏

卒業生からのメッセージ

代表して2名の卒業生から、参加者や大学に向けたメッセージをいただきました。



宇田津一郎氏(学芸学部卒業)



吉原博幸氏(医学部卒業)



学歌斉唱

宮崎大学ブルースカイ合唱団による、「宮崎大学の歌」やテレビドラマ「ゲゲゲの女房」の主題歌「ありがとう」など、歌のプレゼントで場内は感動に包まれました。

懇親会

和やかなムードの中、卒業生は恩師や学友との会話に花を咲かせていました。また、学生サークルのパフォーマンスや抽選会も行われ、会場は大いに盛り上がりしました。



卒業生代表挨拶
吉井重夫氏(農学部卒業)



卒業生代表挨拶
河野恵宜氏(工学部卒業)



住吉昭信名誉教授
(前宮崎大学長)による乾杯



長瀬次期実行委員長
からの挨拶(工学部)



久々の再会を
懐かしむ卒業生



学生サークルによる演奏



会場には、宮崎大学オリジナルグッズの販売ブース
を設置



司会を務めていただいた

テレビ宮崎
榎木田朱美 アナウンサー
(教育学部卒業)



宮崎大学ホームカミングデイによせて

このたび記念すべき第1回目の宮崎大学ホームカミングデイで司会を担当させていただきました。私は入学して半年間、船塚の旧キャンパスに通い、その後、木花キャンパスに移転した世代、いわば、大学が生まれ変わる「節目」に遭遇したメンバーの一人です。卒業後は報道取材者として、教育学部の再編、医科大学との統合などさまざまな転機を取材してきました。そして今回のホームカミングデイに司会という形で参加できてとても光栄に思っています。第1回終了後、早速翌日には第2回目の司会依頼をいただきました(笑)また皆様の笑顔にお会いできる日を楽しみにしています。

各学部企画

卒業生は懐かしそうに見学を楽しんでいました。

●教育文化学部

旧キャンパスパネル写真展

●医学部

新外来棟、総合教育研究棟や最新のカルテシステム等の見学

●工学部

集光型太陽光発電見学や新旧キャンパスパネル展示

●農学部

学生による展示発表、農業博物館、フィールドの見学



参加者からの声



余生わずかだけれど若い人達の活動に触れるのは楽しい。大学祭と合わせて一生懸命さが上手・下手さでなく元気をもらえるし、社会貢献につながる。もっと街に出て活動して下さい。代償は期待できないが喜ばれるよ。講演は難しかったが立派な卒業生が多数活躍されているのは頼もしい。天候が残念であったが雨にぬれての活動に感謝です。負けないで続けて！

【昭和32年 学芸学部卒業】

母校宮大の先生方と交流できたこと、又、先生と親しく会話できたこと、そして母校のすばらしい事を発見でき、満足度100%!!雨の中、親切な案内で受付・会場まで気持ちよく行き着くことができました。卒業生からのメッセージ、懐かしく聞き入りました。短時間のメッセージ、やはりスライド等の使用は効果的。ブルースカイ合唱団、歌唱力抜群、感動的!!「宮崎大学の歌」、新しい歌、歌詞、メロディー共に我々が歌った旧歌よりすばらしい!!(旧歌もよかったが)「特別講演」専門的であり理解できなかったが、我々にとって為になるすばらしい研究だということはわかりました。母校に「文化功労者」の教授が…。「我々の誇り」!!進行役の榎木田アナウンサーが後輩だと聞き、親しみを覚えました。ありがとうございました。母校のご発展をご祈念致します。

【昭和34年 学芸学部 職業学科卒業】

総合大校としての実状が理解でき、母校を誇りに感じる事ができました。卒業生の方のメッセージも的を得ており有意義でした。特に、学歌斉唱プラボーで純真な若者の歌声、感激しました。埼玉から遠路来ました価値あります。特別講演ありがとうございました。ホームカミングデイ、継続は力なりの一言に尽きると思います。

【昭和39年 農学部 畜産学科卒業】

連合会が結成されることによって、多角的に学問することの大切さ、人間相互が持ち合わせた専門的分野を駆使して目標達成する意味を理解できた。

【昭和40年 学芸学部 卒】



「ホームカミングデイ」、意義のある開催行事でした。同窓生との再会、大学の様子、学生の姿等、熱気に満ちた活動等頼もしく思えました。高度な講演に久しぶりの学習、とても感謝いたします。親睦懇親会とても賑やか、生き生きとした催しに感じ入りました。大学構内に入ってみたこと自体、大変気分的にも良かったです。

【昭和36年 学芸学部 卒】

宮崎大学が一丸となり、同窓生で支援していく為には、良い機会であった。第1回だけに、開催まで

に苦労が多かったと思います。委員の方々に感謝します。同窓会の在り方は、同じ大学を出たことにあり一同に集まるのは、「先輩後輩とのネットワーク=太いパイプ作り」の場として、今後も大学が良いかと考えます。私は工学部出身ですが、3年生あたりから4年生にかけて先輩(現役又は退職者)を呼んで卒業前に社会に出ての身につけ方、会社生活への適応力など談話する機会があると同窓会のつながりが更に強まると考えます。

【昭和45年 工学部 機械工学科 卒】

現在、県外在住ということもあり、あまり宮大の情報を知ることはないのですが、実際に話を聞くと、いろいろな特色のある活動をしていることがわかりました。数年後には宮崎に戻りますので、少しでも宮大の発展に寄与できればと思っております。学部・学科の垣根を越えた連携は、非常に意義のあることだと思います。

【昭和57年 工学部 応用物理学科 卒】

外から眺めていた大学に触れることができたという感じ。こういう機会がないと訪問できなかった。駐車場での案内など丁寧に誘導していただいた。また、受付などもよくしてもらった。歓迎式典から「みやだいもうくん」の紹介、学歌斉唱、特別講演など楽しく、また、興味深く過ごさせていただいた。懇親会も、進行・料理など満足のいくものだった。関係の皆様方大変なご苦労だったと思います。お疲れ様でした。こういう催し物をして、卒業生や市民のつながりを持って欲しい。

【昭和44年 工学部 電気工学科 卒】

卒業生レポート

みなさん、卒業後、どのような人生を送っているのでしょうか。
様々な分野で活躍している方や趣味を楽しんでいる卒業生をピックアップしました!

多田武利さん(昭和33年学芸学部卒業)

喜寿を迎えた今、古文書とゴルフを楽しんでいる。
古文書は県立図書館が刊行している「佐土原藩島津家日記」の解説筆耕に、宮大同窓の中元暢一氏と藤原恵氏の三人で携わっている。

また、みやざき歴史文化館で月2回古文書解説勉強会を行っており、同館が行っている古文書解説講座(20回)の講師を会員交代で勤めている。興味のある方はぜひ参加を。

ゴルフは宮大33会(昭33卒)といのしし会(同期退職)と、月2回は同年齢組で励んでいる。年2回は宿泊コンペで夜の部も楽しんでいる。80歳迄はと言っているが、この分ではそれ以上続くかも。
近刊著書「西国外様小藩の江戸参勤」(鉦脈社)



児島将康さん(昭和59年医学部卒業)

久留米大学分子生命科学研究科教授

研究と山登りはよく似ている。私は現在でも、研究と山登りに夢中だが、どちらも宮崎医大が原点だ。一步一步、未知の現象を明らかにすることと頂上を目指して登っていくことは、どちらも非常にスリリングな体験だ。先日、久しぶりに訪れた北アルプスはなにも変わっていなかった。歳をとって体力は衰えたが、気持ちは若い時のままであることを再確認した。そして、より高い頂上を目指して今日も奮闘している。



廣澤直也さん(平成16年工学部卒業)

株式会社SUNAO製菓代表取締役

入学を機に広島より宮崎に来て早13年目。ここ宮崎で(株)SUNAO製菓を設立し、医薬部外品・化粧品・機能性食品の受託製造と、宮崎牛やマンゴー等県特産品の通信販売を展開しております。現在、学生時代お世話になった研究室と県農産物の廃棄部位(種子や果皮等)の有効利用をテーマに共同研究中。いつも温かく受け入れてくださる先生方に感謝するとともに、宮崎の特色を活かしたオリジナリティ溢れる商品開発を目指し、日々精進しております。



山路明希さん(平成16年度医学部看護学科卒業)

宮崎大学医学部看護学科助手

卒業して臨床を経験後、現在宮崎大学医学部看護学科で働いています。教員という立場になり、先生方や母校への感謝の気持ちはますます強くなりました。自分自身の学生時代を思い出しながら大切な後輩である学生と関わるのは、楽しくもあり少し不思議な気持ちにもなります。看護学科の歴史と共に様々な場で活躍する卒業生が増えています。同窓会会員の皆さんと協力して同窓会を盛り上げていきたいなあ日々構想中です。



吉村史郎さん(昭和50年農学部卒業)

5月21日の早朝、あいにくの曇り空であったが、時々、雲越しにみえる金環日食はかえって神秘的で、思わず口から「すごい!」の一言。テレビは、どのチャンネルをひねっても金環日食狂想曲であった。この日が、何回目かは言わぬが花の我が誕生日、今年は格別忘れがたいものになった。別の意味で格別なのは、この3月末に農林水産省を退職したこともある。昭和52年の入省から35年間、その間には我が郷土の畜産がどうなるものかと心配した口蹄疫の発生が2回、今は思い出話として一筆書ける安堵の気持ちでいっぱいである。



お知らせ

**第2回宮崎大学ホームカミングデー
開催日決定!!**

■日時:平成24年11月17日(土) 10:00~

■場所:宮崎大学木花キャンパス

※詳細については同窓会連合会ホームページ及び各学部同窓会を通じてお知らせします。

ぜひご参加
ください!!



同窓会連合会ホームページ

宮崎大学 同窓会連合会

検索



大豆油を主成分としたインキを使用しています

R2100

古紙配合率100%再生紙を使用しています

編集発行

国立大学法人宮崎大学同窓会連合会事務局 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

TEL(0985)58-2854 ■E-mail: dousou-rengo@of.miyazaki-u.ac.jp ■平成24年6月発行